



中間報告書

平成29年度（第1四半期・第2四半期）

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成29年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 **大宮英明**

取締役社長 **宮永俊一**

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では政治の混乱はあるものの個人消費・企業収益ともに好調を維持し、ユーロ圏でも景気は堅調に拡大したほか、アジア地域についても総じて安定した成長が続いており、世界全体としては堅調に景気が拡大しました。

また、我が国経済についても、個人消費や設備投資が持ち直しているほか、企業収益も改善しており、緩やかな回復基調が続きました。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆6,005億円、売上高は1兆8,254億円、営業利益は382億円、経常利益は412億円、税金等調整前四半期純利益は365億円となりました。また、税金等調整後の親会社株主に帰属する四半期純利益は135億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成29年10月31日の取締役会の決議により、1株につき6円の配当とし、平成29年12月5日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益】

	平成28年度 第2四半期累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	平成29年度 第2四半期累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	増減額
受注高	16,644億円	16,005億円	△638億円
売上高	17,505億円	18,254億円	749億円
営業利益	384億円	382億円	△1億円
経常利益	△18億円	412億円	430億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△189億円	135億円	324億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

部門別の概況

受注高 **16,005** 億円



	(H28-2Q累計)	(H29-2Q累計)
■ パワー	5,918億円	5,845億円
■ インダストリー&社会基盤	7,739億円	7,625億円
■ 航空・防衛・宇宙	2,931億円	2,527億円
■ その他	719億円	604億円
消去または共通	△ 665億円	△ 597億円

■ パワー

コンベンショナル火力発電プラントが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

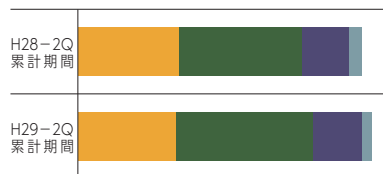
■ インダストリー&社会基盤

製鉄機械、物流機器が増加した一方、商船や化学プラント等が減少したことにより、前年同期を下回った。

■ 航空・防衛・宇宙

MRJや防衛航空機等が減少したことにより、前年同期を下回った。

売上高 **18,254** 億円



	(H28-2Q累計)	(H29-2Q累計)
■ パワー	6,486億円	6,300億円
■ インダストリー&社会基盤	7,930億円	8,825億円
■ 航空・防衛・宇宙	3,033億円	3,160億円
■ その他	785億円	607億円
消去または共通	△ 731億円	△ 638億円

■ パワー

コンベンショナル火力発電プラントが増加した一方、ガスタービンコンバインドサイクルや原子力機器等が減少したことにより、前年同期を下回った。

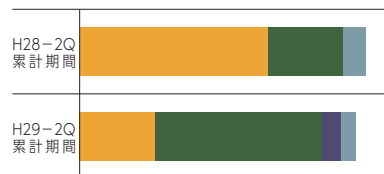
■ インダストリー&社会基盤

物流機器、交通システム等の増加により、前年同期を上回った。

■ 航空・防衛・宇宙

宇宙機器等が増加したことにより、前年同期を上回った。

営業利益 **382** 億円



	(H28-2Q累計)	(H29-2Q累計)
■ パワー	302億円	121億円
■ インダストリー&社会基盤	122億円	269億円
■ 航空・防衛・宇宙	0億円	29億円
■ その他	37億円	25億円
消去または共通	△ 78億円	△ 64億円

■ パワー

売上高の減少等により、前年同期を下回った。

■ インダストリー&社会基盤

売上高の増加や商船のコスト改善等により、前年同期を上回った。

■ 航空・防衛・宇宙

売上高の増加や民間航空機のコスト改善等により、前年同期を上回った。

(注) 当社は、2015事業計画の主要施策の一環として、平成29年4月1日付で事業ドメインの再編を実施しております。これに伴い、従来、「エネルギー・環境」、「交通・輸送」、「防衛・宇宙」及び「機械・設備システム」の4区分としていた当社グループの報告セグメントを、「パワー」、「インダストリー&社会基盤」及び「航空・防衛・宇宙」の3区分に変更しております。

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

	平成28年度末 (平成29年3月31日現在)	平成29年度 第2四半期末 (平成29年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	35,220	36,322
現金預金	2,480	2,267
売上債権	11,801	11,767
たな卸資産	13,255	13,865
繰延税金資産	1,142	1,240
南アフリカプロジェクトに係る資産	2,949	3,448
その他流動資産	3,591	3,732
固定資産	19,598	19,674
有形固定資産	9,350	9,360
無形固定資産	2,494	2,349
投資その他の資産	7,753	7,964
投資有価証券	5,787	6,055
繰延税金資産	130	134
その他	1,835	1,774
資産合計	54,819	55,996

(平成28年度末) (平成29年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 20,098億円 20,539億円

	平成28年度末 (平成29年3月31日現在)	平成29年度 第2四半期末 (平成29年9月30日現在)
負債及び純資産の部		
流動負債	25,270	26,019
買入債務	8,360	7,753
短期借入金	3,034	3,382
前受金	7,776	7,752
その他流動負債	6,099	7,129
固定負債	8,475	8,380
社債	2,150	2,050
長期借入金	3,471	3,291
繰延税金負債	870	1,006
その他固定負債	1,983	2,033
負債合計	33,746	34,399
株主資本	16,794	16,826
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,036	2,137
利益剰余金	12,147	12,075
自己株式	△ 46	△ 42
その他の包括利益累計額	1,032	1,518
その他有価証券評価差額金	1,006	1,370
繰延ヘッジ損益	12	△ 2
為替換算調整勘定	△ 22	109
退職給付に係る調整累計額	36	39
新株予約権	25	23
非支配株主持分	3,220	3,228
純資産合計	21,072	21,597
負債及び純資産合計	54,819	55,996

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成28年度 第2四半期累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	平成29年度 第2四半期累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
売上高	17,505	18,254
営業費用	17,121	17,872
営業利益	384	382
営業外収益	128	215
営業外費用	530	185
経常利益又は経常損失 (△)	△ 18	412
特別利益	37	—
特別損失	164	47
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 146	365
法人税等	3	187
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△ 150	177
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 189	135

(平成28年度第2四半期累計期間) (平成29年度第2四半期累計期間)

(注1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (△) △56円43銭 40円30銭

(注2) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を行ったと仮定して、「1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失」を算出しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成28年度 第2四半期累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	平成29年度 第2四半期累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,183	△ 1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 987	△ 754
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,226	1,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 147	104
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,091	△ 261
現金及び現金同等物の期首残高	3,002	2,424
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 14	△ 5
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,896	2,157

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名 三菱重工業株式会社
本社 東京都港区港南二丁目16番5号
〒108-8215 電話番号：03-6716-3111
創立 明治17年7月7日
設立 昭和25年1月11日

資本金 265,608百万円
(平成29年9月30日現在)
従業員数 16,550名 連結：82,199名
(平成29年9月30日現在)
ホームページ <http://www.mhi.co.jp>

役員

(平成29年9月30日現在)

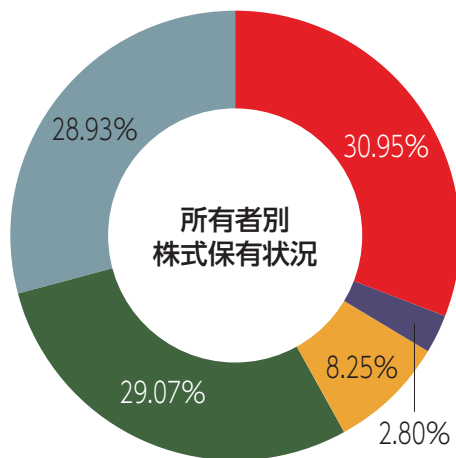
取締役会長	大宮英明
*取締役社長	宮永俊一
*取締役執行役員	小口正範
取締役執行役員	名山理介
取締役	篠原尚之
取締役	小林健
取締役 常勤監査等委員	泉澤清次
取締役 常勤監査等委員	後藤敏文
取締役 監査等委員	畔柳信雄
取締役 監査等委員	クリスティーナ・アメージャン
取締役 監査等委員	伊東信一郎

(*印は、代表取締役)

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000,000株※
発行済株式総数 3,373,647,813株※
株主数 284,489名



■ 金融機関
■ 証券会社
■ その他の法人
■ 外国法人等
■ 個人・団体等

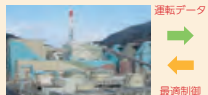
※当社は、平成29年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、10株を1株に併合いたしました。これに伴い、同日付で発行可能株式総数は600,000,000株、発行済株式総数は337,364,781株となっております。

最近の主なニュースとお知らせ

AI（人工知能）を活用した 次世代火力運用サービスの協働開発

関西電力(株)（以下、関西電力）と三菱日立パワーシステムズ(株)（以下、MHPS）は、AIを活用した国内外の火力発電所向け運用高度化サービスを協働開発することで基本合意書を締結しました。関西電力が持つ運用ノウハウや大量の運転データとMHPSが持つ設計・製造・建設ノウハウを融合させるとともに、最先端のAI技術を融合させるとともに、最先端のAI技術を駆使し、コンピューター上にデジタル・ツイン（仮想発電所）を構築します。このデジタル・ツイン上で、燃料等の運転条件を変更した際の影響を検証し、その検証結果を実際の発電所に適用することで、最適運用につなげます。平成30年度中には関西電力が保有する舞鶴発電所で実証試験を実施し、その後には、本システムを国内外の発電事業者向けにサービスとして提供していくことで、発電事業者が保有する火力発電所の運用高度化に貢献していきます。

実プラント



デジタル・ツイン
をAI技術で構築



広島高速交通㈱から “アストラムライン”の新型車両66両を受注

三菱重工業(株)は、広島高速交通㈱から、新交通システム車両66両（11編成）を受注しました。広島新交通1号線“アストラムライン”が平成6年に開業以来運行している既存車両の更新向けとして、平成31年度から納入します。今回受注した新型車両は、軽量で高い耐久性とリサイクル性を備えたダブルスキン構体を採用。揺れを低減し乗り心地を向上させた台車や、足の投げ出しも防止するセミハイバックパケットシートを搭載するなど、安心・安全で快適な車両を製作していきます。新交通システムは、ゴムタイヤを用いているため、低騒音・低振動で沿線環境に優しい乗り物です。今回の受注を弾みとして、今後も国内外の都市交通ほか、積極的な営業活動を展開していきます。



アストラムライン向け新型車両

H-IIAロケット36号機 打上げ成功

三菱重工業(株)及び宇宙航空研究開発機構（JAXA）は「みちびき4号機」（準天頂衛星）を搭載したH-IIAロケット36号機を10月10日に打上げ、所定の軌道に投入することに成功しました。平成29年10月現在、我が国の基幹ロケットであるH-IIA/Bロケットは平成17年以降36回連続で打上げに成功し、世界トップレベルの打上げ成功率約97.6%を誇っています。今回打上げた「みちびき」は、GPSと組み合わせることで更に正確な測位が可能となり、これによる位置情報サービスの利用拡大が期待されています。オンタイム打上げの実績、技術力及び高い信頼性が評価され、9月には英国企業から移動体通信衛星の打上げ輸送サービスを受注しました。当社は、信頼性を維持しつつ価格競争力を更に高めたH3ロケットの開発を進めることで、打上げ輸送サービスの受注拡大を図ります。



● 当社施設の紹介 ●

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、これまで250万人以上のお客様にご来館いただいております。日常では触れる機会が少ない最先端の科学技術を参加型の展示や多彩なイベントプログラム、企画展とともに楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい」駅5分 徒歩3分
JR根岸線／横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）
休館日：毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）、
年末年始（平成29年12月29日（金）～平成30年1月4日（木））及び
特定休館日（平成30年2月13日（火）～24日（土））

お問い合わせ：電話番号 045-200-7351

ホームページ：http://www.mhi.co.jp/museum/（特定休館日等をご確認ください）



三菱みなとみらい技術館ご招待券

見本

有効期限：平成30年3月31日（お一人様一回）
本券をご持参ください。（同伴者3名様まで有効）
（本ご招待券で、有料体験プログラムをご利用いただくことはできません）

工場見学会のご案内

第27回工場見学会を下記のとおり名古屋航空宇宙システム製作所（愛知県）で開催いたします。

多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

・見学場所 名古屋航空宇宙システム製作所（愛知県）

当製作所では、航空機やロケット等の航空宇宙に関する製品を製造しております。また、平成29年11月30日には愛知県豊山町にMRJ（三菱リージョナルジェット）をテーマとする展示施設「MRJミュージアム」がグランドオープンいたしました。今回は、名古屋市の大江工場、飛島村の飛島工場及び「MRJミュージアム」をご覧ください、当社航空宇宙事業の一端をご紹介しますとともに「ものづくり」の醍醐味をお伝えいたします。

・実施日時 平成30年3月6日（火） 12：00～18：00（予定）

※火曜日の開催となりますのでご注意ください。

・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）

・集合・解散 JR名古屋駅（予定）

・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



応募要領

・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。

・締切日 平成29年12月31日（日）（当日消印有効）

・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。

厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。

その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報は、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき 62円 切手 108-8215 三菱重工業(株) 広報部SRグループ 工場見学会係行 東京都港区港南 一丁目16番5号	●郵便番号 ●住所 ●氏名 (ふりがなをご記入ください。) ●電話番号 ●性別 ●年齢 ●同伴者の住所、氏名(ふりがな) 電話番号、性別、年齢
---	---

あて名面

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 グループ戦略推進室 広報部 SRグループ

電話番号：03-6716-3111（大代表）

8：45～17：30（土・日、祝日、当社休日を除く）

株主メモ

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………100株※

※当社は、平成29年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、10株を1株に併合いたしました。

- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<http://www.mhi.co.jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

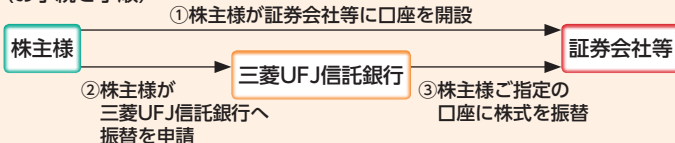
1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いさせていただきます。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

（お手続き手順）



2. 単元未満（100株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取り（株主様ご売却）あるいは買増し（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（上記1.（1）及び（2）ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在65株をご所有の場合、当社を通じて35株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



3. 「マイナンバー」に関するご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

ホームページ「株主・投資家の皆様へ」はこちらから、
<http://www.mhi.co.jp/finance/index.html>

三菱重工業株式会社

